

感染症発生状況

平成31年1月23日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成31年1月15日（火）～1月18日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】653名 【職員】25名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】163名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数95名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状：熱（212名）、咳・鼻水（76名）、下痢・腹痛（19名）、嘔気・嘔吐（12名）

疾病別：インフルエンザ（268名）、溶連菌感染症（48名）、気管支炎・肺炎（12名）、水痘（8名）

【職員】症状：熱（6名）、下痢・腹痛（1名）、嘔気・嘔吐（1名）

疾病別：インフルエンザ（16名）

インフルエンザが昨週比で倍増しました。職員の罹患もあります。溶連菌感染、水痘、手足口病など各種入り乱れて流行しています。

【症状別の発生状況】

インフルエンザ 玉山、河北地域で減少。厨川、盛南、河南、都南地域で増加しました。

溶連菌感染症 厨川、河南地域で減少。河北、盛南地域で増加しました。

気管支炎・肺炎 玉山、厨川、河北、盛南、都南地域で減少しました。

水痘 玉山、厨川、都南地域で減少しました。

【県の状況（1/7～1/13）】

インフルエンザはすべての地区で増加し、盛岡市、奥州、一関及び宮古地区で警報値（定点あたり患者数30人）を超えました。冬休みが終わり、今後、学校等においてさらに流行が拡大するおそれがあります。発熱、頭痛、関節痛など、症状がある場合はマスクの着用など咳エチケットを心掛け、早めに受診することが勧められます。また、予防にはこまめな手洗いや体調管理が重要です。

感染性胃腸炎は、例年冬季に流行し、集団感染事例の報告も増加するため、引き続き注意が必要です。予防には、食品に触れる前やトイレの後などの石けんと流水による十分な手洗いと、患者の吐物や便は使い捨ての手袋やマスクを着用し、塩素系薬剤で処理することが重要です。

伝染性紅斑（リンゴ病）は再び増加し、久慈、県央、中部及び宮古地区で警報値（同2人）を超えました。妊婦の方が感染すると胎児に影響するおそれがあるので注意が必要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】